

NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

SEYBOLD TOKYO レポート 本来の意味に近づいてきた エレクトロニック・パブリッシング

電子出版の展示会とコンファレンスである「SEYBOLD TOKYO (主催: ソフトバンクエクスポ)」が12月2日から5日まで、東京ビッグサイトで開催された。このイベントのインターネットにフォーカスした部分についてレポートする。

(本誌編集長 中島由弘)

読者の皆さんは、「電子出版」といった場合、どのようなことを連想するだろうか? 「電子出版」といえば、いわずと知れた「デスクトップパブリッシング(DTP)」を指す言葉だった。つまり、出版物の制作過程を電子化しようということだ。マッキントッシュなどのパソコンを使って印刷の前段階を処理して、コストを下げようというのがセールストークだった。そして、つぎにCD-ROMに代表されるマルチメディア制作物も含むようになった。一見、DTPとCD-ROMのマルチメディアタイトルはまったく違うように思うかもしれないが、実は共通したコンセプトがあった。それは「コンテンツのデジタル化」ということだ。そして、96年のSEYBOLDでは、「インターネット」というテーマが追加された。DTPとCD-ROMでコンテンツがデジタル化されてきたが、コンテンツの配布に関しては相変わらず人間

とトラックのコラボレーションだった。本来の「パブリッシング」は読者に届けることができはじめて完結する。

配布の機能を包含していなかったこれまでのDTPやCD-ROMのマルチメディアタイトルは、実は「デスクトップオーサリング」に過ぎなかったのだ。コンテンツがデジタル化されることによって、ネットワークの意味が理解できたり、ネットワークがあることでコンテンツのデジタル化の意味が深くなった。決して、自分でなんでもできること、あるいはなんでもしなければならなかったことがDTPの本質ではなかったのだ。

さて、この展示会の主

な来場者は印刷関連に携わる人、そしてコンピュータを使うクリエイターだ。もちろん、身近な問題の解決策を探る人は多く、アドビシステムズ社のフォトレタッチソフトである「フォトショップ」のチュートリアルをはじめ、カラーマネージメントなどの最新のDTP分野のセッションは人気が高い。そのようななかで、初回のイベントとしては、ネットワークへの興味は高いほうだったように思われる。

今後インターネットのコンテンツの充実と本当の意味での「エレクトロニック・パブリッシング」を実現するために、このような企画が成長していくことを望みたい。



日本で初めての開催となったSEYBOLD。来場者は3日間で28,784人を数えた。

デジタルコンテンツの売買に 欠かせない小口決済システム

インターネットにおける通信販売では、決済システムとしてクレジットカードに期待が集まっているが、電子新聞の読み出しや音楽データの課金といった「情報」の売買には、1記事100円、1ソフト1000円といった小額取引に合った決済システムが必要になる。このニーズに応えるために、カード会社と情報とを売る側の間に立ち、小口決済と料金回収を代行するビジネスが登場してきた。

(編集部)

小口決済というと、現金のしくみをインターネットで使う電子マネーに注目が集まる。しかし、物理的な媒体を使わない電子マネーは、国内ではまだ研究段階でしかない。チップカードを「財布」にして金額情報をネットワークから出し入れして使う電子マネーも、まだハードウェアの普及や金融機関の動向が見守られている状況にある。そこで、インターネットで情報を売りたい例は、今すぐ使える小口決済のしくみが必要になる。

電子財布を実現する プリペイド型の「NET-U」

ユーカードが開始したのは、NET-Uというソフトウェア上のプリペイドカードだ。会員になると、専用ソフトで最低3000円から4万円未満の「NET-U」をオンラインで購入できる。そして手持ちの金額の範囲でNET-Uの加盟店で買い物をするしくみだ。NET-Uのソフトを起動すると、画面に残金

が表示され、何かを購入するとそのたびに残金が減っていく。残金が少なくなると、NET-Uを買い足すわけだが、この購入にはクレジットカードと銀行振込みが使える。

NET-Uの加盟店になるには、30万円の入会金と月額2000円の会費、そして1取引当たり10円と売上げの10%をユーカードに支払う。ユーカードではモールの構築は行わないので、店側は決済用の基本ソフト(現在はUNIX用のみ)を自社サーバーに組み込むことになる。

現在、エキスパンドブックを発売するボイジャーやニフティサーブにも出店している電子書店パピレスなどのデジタルコンテンツ販売会社が参加を表明している。

新ネットワークサービス 「ぶらら」への出店

10月31日にインターネット接続サービスを開始したジューアルホームネットの「ぶらら」は、利用したコンテンツ単位で課金

するしくみを提供し、料金回収代行サービスを行う。出店企業(ぶららIP)になるには、新規契約金100万円と保証金50万円のほか、料金徴収代行費として売上げの何パーセントかを支払う必要がある。この場合、買物客は約15万人と発表されているぶららの会員が対象になる。

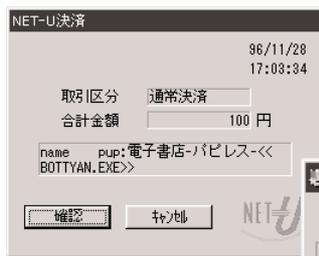
ジャストシステムも97年に 「Just Digi-Trade」を提供

ジャストシステムは、取引管理も含めた「Just Digi-Trade」というデジタルコンテンツの販売システムをNTTと共同開発し、97年にデジタルコンテンツの専用モール「Just デジタルモール(仮称)」を開設する。このモールはインターネット利用者なら誰でも利用できるもので、情報の購入時にリアルタイム決済が行われ、その記録にもとづいて最終的にはクレジットカードで決済される。出店企業の募集は97年秋になる見込みで、出店料はまだ決まっていなが、定額料金と売上げの何パーセントかをジャストシステムに支払うことになる。

広告収入から 有料コンテンツの時代へ

今回紹介したシステムは、クレジットカード決済を補足する部分大きい。クレジットカード決済部分を代行会社に任せることで、クレジットカード会社の加盟店になったり、自社のサーバーをカード会社のネットワークと接続したりする必要がない。インターネットバンキングなどが登場してくれば、サービスはもっと多様化してくるだろう。

しかし、どんな決済方法であれ、デジタルコンテンツの本質は、情報の質を売ることにある。96年まで広告収益にたよっていたニュースサイトでも、より本格的なサービスを有料で提供する動きが見られる。小口決済システムのニーズが本格的に高まるのは、これからだろう。



NET-U

たとえばNET-U加盟店の電子書店パピレスに行って好きな作品を選んで「購入」ボタンを選ぶ。すると財布の金額が減り、ダウンロードが始まる。WWW上で入会登録をし、その入会金を支払うようなサービスがある場合は、その処理をすべてリアルタイムでできるようになる。

URL <http://www.u-card.co.jp/>
E-mail netu@u-card.co.jp



Service 日本エアシステムがインターネットでチケットレス予約開始

日本エアシステムは、国内航空会社としては初めて、インターネットでのチケットレス予約サービス「インターネットJASとON-LINE」を96年12月11日から開始した。96年9月18日からパソコン通信のみで提供していたが、今回SSLによる電文の暗号化、日本ペリサイン社によるサーバー認証を採用し、WWW上でクレジットカード番号も送ることができるようになった。

予約ができるのは、日本エアシステムと日本エアコンピューターの国内便で、各種事前割引にも対応する。利用できるクレジットカードは、VISA / MASTER / JCBと提携したJASカードのほか、JCB、アメリカンエクスプレス、ミリオンカード、UCカード、DCカード、NICOSカード、セゾンカード、住友VISAカードおよびVISA

JAPAN加盟カード会社のVISA/MASTERカード。このほかのカードも現在調整しているという。

サービス開始を記念して、97年9月末日までの間、抽選で無料航空券などのプレゼントが当たるキャンペーンをホームページ上でしている。なお、予約は午前5時から午後11時45分まで（年中無休）で、予約以外の空席照会、運行スケジュール照会などは、これまでどおり24時間対応する。

URL <http://www.jas.co.jp/>



空席案内や運賃照会もあるJASのサイト

Service ISDNの機能を利用したメール到着通知サービス NECがBIGLOBEで6月開始

NECは、インターネットとパソコン通信を融合した「BIGLOBE」で、同社のターミナルアダプター「Aterm ITシリーズ」を利用した電子メール到着通知サービスを開始する。ISDNのユーザー間情報通知サービスを利用して行うもので、電子メールの到着があった場合にAtermのランプを表示させることで通知する。これにより利用者は回線を接続せずにメールの着信がわかり、通信費が削減できる。また、パソコンの電源が入っていない場合でも、ISDNの2回線分を使用中の場合でも通知できる。世界初のサービスで、97年3月から試行サービスを開始し、6月から使用量に応じて月額500円程度で本サービスを開始する予定。

URL <http://www.meshnet.or.jp/aterm/>

Provider SANNETが97年からハイパーシステム採用 接続料金を軽減

三洋電機系のプロバイダーSANNETは、97年1月7日より、ハイパーネットが提供する広告システム「ハイパーシステム」を導入する。これによって、SANNETの会員はインターネット接続時に、通常の接続と「ハイパーシステム」を利用した接続を選択できるようになる。「ハイパーシステム」は、インターネット接続時に広告ビューアー「ホットカフェ」が表示され、そこに表示される広告件数によって接続料金が軽減されるシステム。これまで「ハイパーシステム」は、東京地区のプロバイダー2社で利用されていたが、SANNETのように特別第2種通信事業者で全国規模の事業展開をするプロバイダーとしては初めてのケースとなる。

問い合わせ 三洋電機ソフトウェア㈱
TEL06-995-2618
✉ info@sannet.or.jp

Service マルチメディア型の商用データベース ジー・サーチが開始

ジー・サーチは、インターネット上で本格的な商用マルチメディアデータベースサービスの提供を開始した。インターネットでの提供は国内では同社が最初で、第一段階として、富士通のインターネットサービス「InfoWeb」のダイヤルアップIP接続会員を対象に提供する。データベースメニューは当初、新聞記事情報、企業情報、特許情報、レジャー情報、海外都市安全情報、気象情報などで、97年7月までに約100種類に拡充する予定。従量制の課金システムを採用しており、利用料金は新聞記事情報が見出し表示で1件5円、全文表示で1件50円。

問い合わせ 富士通InfoWebサービスセンター
TEL0120-5442-54

URL <http://wdbs.g-search.or.jp/>

Service データ多重放送とインターネットの融合技術 インフォシティが発表

インフォシティは、テレビの地上波放送の隙間を利用してHTMLなどのデータを送受信し、テレビ放送とインターネットを融合したサービスを実現する「Bitcast/VBI製品群」を開発した。放送送出側のシステム「Bitcast Production System」と、テレビチューナー付きのパソコン上で動作する「Bitcast Browser」で構成される。「データ多重放送」という日本の放送規格に準拠しており、受信したテレビ番組と関連コンテンツを同時に表示したり、そのWWWコンテンツをクリックしてインターネットに接続することもできる。製品は97年4月にリリースし、パソコンメーカーへのOEM供給、放送局へのシステム販売を行う。

問い合わせ ㈱インフォシティ
TEL03-3207-0246
✉ contact@infocity.co.jp

Service 朝日新聞社が「asahi.com perfect」を発表 過去の記事データベースも提供

朝日新聞社は、同社のインターネット情報サービス「asahi.com」の内容を強化した有料サービスを開始する。サービス名は「asahi.com perfect」で、ジャーナルホームネットの「ぶらら」と、ジャストシステムの「ジャストネット」、ニフティの「ニフティサーブ」の各ネットワークの会員を対象に、当面各1,000人の計3,000人に会員数を限定してサービスを提供する。

内容は、従来の「asahi.com」の「今日の朝刊」の記事本数を大幅に増やし、政治面、国際面の記事も掲載する。また、高速検索機能（デジタルニュースアーカイブ：DNA）を用いた記事検索機能も追加する。DNAでは、1985年以降の約170万件の記事を対象に、日本語全文検索方式で情報を引き出すこともできる。サービス

は、各ネットワークと朝日新聞社の技術的な調整が済み次第サービスを開始し、1か月程度の試用期間のあとで課金サービスに移行する。料金は月額5,200円の固定料金。申し込みは各ネットワークで受け付け、朝日新聞社に直接申し込むことはできない。



記事検索もできる「asahi.com perfect」の画面イメージ

Business 博報堂など7社が インターネット広告の 新会社を設立

博報堂、旭通信社、デジタルガレージなど7社は、インターネットにおける広告の販売などを行う新会社「デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)」（略称：D.A.コンソーシアム）を設立した。新会社の社長には博報堂の矢嶋弘毅氏が就任し、資本金は1億2千万円。新会社の株主構成は以下のとおり。

博報堂35%、旭通信社16%、デジタルガレージ16%、読売広告社8%、第一企画8%、アイランドエス8%、徳間創造網5%。

新会社は、メディアレップとして、デジタルガレージが運営する日本語検索ディレクトリーサービス「インフォシーク」における広告販売をはじめ、インターネット上の広告に関するさまざまな業務を手がける。

問い合わせ D.A.コンソーシアム
TEL03-5790-7272

Service PHSでインターネット接続 全国どこからでも1分13円 DDIポケットがスタート

DDIポケット電話グループ各社は、PHSを利用してパソコン通信やインターネットのアクセスポイントに、全国どこからでも一律料金で接続できる「ポケットアクセスサービス」（仮称）を開始する。このサービスは、全国を7地域に分けてDDIマルチメディアアクセスライン（MAL）のアクセスポイントを設置し、MALのアクセスポイントを経てプロバイダーのホストコンピュータに接続する。これにより、プロバイダーが7つの単位通話地域のすべてにアクセスポイントを設ければ、全国どこからでも一律料金（13円/1分）で接続できるようになる。DDIポケットグループでは郵政大臣の認可が得られ次第、すぐにもサービスを開始する予定。

問い合わせ DDIポケット電話グループ
TEL0120-176-277

Service 高速日本語検索エンジン NTTと米国INKTOMI社 共同開発で合意

NTTと、広告会社のNTTアド、検索エンジン会社の米国INKTOMI社の3社は、日本語ホームページを検索するための高速商用日本語検索エンジンを共同開発することで合意した。これは、世界中のホームページに関して、5400万URLという世界最大のデータベースを持つINKTOMI社の検索エンジンに、NTTが開発した日本語検索エンジン「InfoBee」の日本語処理技術を統合することにより、世界最高速レベルの日本語および英語対応の検索エンジンを開発するもの。97年3月までには開発してサービスを開始する予定で、検索エンジン導入に伴うインターネット広告事業はNTTアドが展開する。

問い合わせ NTTマルチメディアビジネス開発部
TEL03-5200-6810

Service マーケティングに使う インターネット広告 「WebRally」運用開始

ビー・プランニングは、インターネット上の広告をマーケティングに活用するツール「WebRally」を開発、97年1月のプレオープンに向けてテスト運用を行っている。利用者が広告協賛企業のホームページでアンケートに答え、合計で10社アクセスすると抽選でプレゼントが当たる。協賛企業にとっては、ホームページへのアクセスが増え、アンケートで効果的なリサーチが可能になる。

問い合わせ (株)ビー・プランニング
TEL 03-3206-0171
URL <http://www.webrally.com/>



質問フォームなどは「WebRally」側で作る

Network 衛星データ通信サービス会社 「ダイレクトインターネット」 衛星経由で400Kbps 配信

衛星通信とインターネットをリンクさせて高速デジタル衛星データ通信サービスを行う新会社「ダイレクトインターネット」が、日立電線、日本テレコム、ソニー・ミュージックエンタテインメント、トーメン、パラレルテクノロジーの5社により設立され、社長には日立電線の工藤直氏が就任した。上り回線にインターネットを利用し、下りは通信衛星「PAS-2」経由で行う米国ヒューズ・ネットワーク・システムズ社の「ディレク・ピーシー・システム」を導入しており、インターネットのコンテンツを400Kbpsの衛星通信でパソコンに直接配信するサービスなどを97年春から開始する。

問い合わせ ダイレクトインターネット(株)
TEL03-5250-5011

Service コンビニで商品を受け取る オンラインショップ 「ベネフィットオンライン」

日本ビクターは、コンビニなどで購入商品受け取ることができるオンラインショッピングサービス「ベネフィットオンライン」を97年6月から開始する。同社がNTT、ソニー、セガ、ヤマハとともに設立した「ジーアールホームネット」のネットワーク「ぶらら」上で開始するもので、サービス開始に先立ち、ぶらら上に「ベネフィットモール」を開設した。同モールには「需要ジャンル別コーナー」が設けられ、必要な商品情報を簡単に検索できる。また、2月には事業運営のための新会社「ベネフィット オンライン」(仮称)を設立し、コンビニなどで早期入会特典付き会員募集キットも販売開始する。

問い合わせ ベネフィットカスタマーセンター
TEL03-5354-2552

Service CD-ROMと通信でソフト 流通「メディアシャトル」 富士通が開始

富士通は、CD-ROMとネットワークを複合利用した電子情報作品の流通サービス「メディアシャトル」の提供をインターネットで開始した。このサービスは、ソフトやコンテンツなどを雑誌付録CD-ROMなどに収録して配布し、それらを利用するための暗号鍵はネットワークで有償提供するもの。95年11月からニフティサブ経由でサービスしているが、セキュリティーを強化して新たにインターネット経由でのサービスも開始した。決済はユーシーカードとの提携により行い、UCおよびUC提携のVISA、Masterの両Cardが利用できる。

問い合わせ 富士通(株)SD事業推進部
TEL03-3216-3705
URL <http://mshuttle.sdnet.or.jp/>

Service 渡辺プロがインプレスと共同で インターネットTV局をスタート

渡辺プロダクショングループとインプレスグループは共同で、インターネット上にテレビステーション「W VISION」を開局した。インプレスグループがインフラ・技術面とコンテンツ製作を担当し、渡辺プロがアーティストの提供や番組制作を担当する。アニメーション製作企画会社スタジオぴえろもコンテンツプロバイダーとして参加し、



「W VISION」の番組画面

「エンターテインメント総合TVステーション」をコンセプトに、アニメ、ミュージック、バラエティー、ライブの4チャンネルが用意される。すでに「平成天才バカボン」や、ミュージシャン横原敬之氏のミュージックビデオ、ホンジャマカのライブなどが放送されている。

番組内容は、アニメチャンネルは毎日更新、そのほかのチャンネルは毎週金曜日に更新する。「W VISION」の番組タイトル表示にはFutureWave Software社のFutureSplash、動画再生にはVDOnet社のVDOLiveを利用する。このプロジェクトでは、アーティストの著作権を守る研究もすすめ、著作権保護の新しいかたちを探っていく。

URL <http://www.w-vision.com/>

Service 日本経済新聞社 インターネット情報の メールサービス開始

日本経済新聞社は、インターネット関連情報の電子メール配信サービス「NIKKEI MAIL-Cyber」を無料で開始した。朝夕2回配信し、夕方版では当日発表された企業リリースも提供する。同社のホームページ「NIKKEI NET」内で会員登録を受け付けている。また、同ホームページでは、「URLインデックス」に日本語と英語の検索エンジンを搭載した。

URL <http://www.nikkei.co.jp/>



NIKKEI NET

Provider 32Kbpsのデータ通信で
PHSからインターネット接続
テレウェイがテスト実施

テレウェイ（日本高速通信）は、PHSによる32Kbps高速デジタルデータ通信サービスの早期実現を図るため、PHSからインターネットプロバイダーなどに接続するフィールドテストを開始した。業界標準のPIAFS（PHS Internet Access Forum Standard）による32Kbps高速デジタルデータ通信テストで、PHSから同社のデータ送受信サービス「データオンデマンドサービス」に接続することによりプロバイダーへのアクセスを可能にしている。アステル東北、東北インテリジェント通信、IIJ、アスキーなどと共同で行い、仙台市とその周辺都市をメイン地域に限定して97年3月まで実施する。

問い合わせ 日本高速通信(株)PHS事業推進部
TEL03-5820-2718

Service 藤沢市がホームページで
市民電子会議室実験
97年度本格実施

藤沢市は、ホームページ上で「市民電子会議室実験」を97年2月から2か月程度の予定で実施する。同市は開かれた市政と市内産業の振興を目指した一方策として、慶應大学湘南藤沢キャンパスと共同でインターネットを活用したシステム作りを進めており、97年度から本格的に市民電子会議室を開設する計画だ。それに先だって小規模な電子会議室を実験的に開設するので、「開かれた市政実現」などをテーマに実施する。参加者は藤沢市民と在勤、在学者が対象で、申し込みは電子メールで受け付ける。

問い合わせ 藤沢市役所市長室企画財政担当
TEL0466-50-3503

✉ askme@city.fujisawa.kanagawa.jp
URL <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/>

Service 電子ネットワーク協議会
インターネットの規制で
フィルタリング機能を検討

電子ネットワーク協議会は、インターネット上の“見たくない”あるいは“見せたくない”情報を排除できる「フィルタリング機能」の普及の検討を開始した。インターネットは世界中に向けて情報発信が手軽にできる反面、誹謗中傷や人種差別、猥褻、テロなどの反社会的情報も広く流通することが大きな社会問題になりつつある。このため、情報発信を規制する動きもあるが、情報にラベル付けをして受信を選択できるフィルタリング機能を利用すれば、言論の自由を侵すことなく利用者側でインターネットの情報を選択できるようになる。

問い合わせ 電子ネットワーク協議会
TEL03-3452-6420

URL <http://www.nmda.or.jp/>

Network 低料金の国際電話サービス
AT&Tが東京地区で開始
米国へ3分240円

日本AT&Tコミュニケーション・サービスは、低料金の国際長距離電話サービス「AT&Tワールド・アクセス・サービス」を開始した。このサービスは、契約後は電話番号をダイヤルするだけで利用でき、AT&Tが提供する「オートダイヤラー」を利用することにより、「AT&Tワールドワイド・インテリジェント・ネットワーク」に自動的に接続されるため、米国と同じ料金で通話できるもの。料金体系は1分ごとの均一料金となり、米国やカナダにかける場合は3分間240円（通常450円）ですむ。当面、東京地区の法人を対象としているが、近い将来に一般消費者向けのサービスも開始する予定。

問い合わせ AT&Tカスタマー・サービス・センター
TEL03-5573-5795

Service インターネットで
結婚式費用の見積もり
センチュリーハイアット

ホテルセンチュリーハイアットは、インターネット上で結婚式費用の見積もりサービスを開始した。利用者は、日取り、招待客の人数などの質問に答えを入力すると、挙式にかかる費用を計算するシステム。このほか、同ホテルのホームページでは、イベントなどの資料請求や、米国のハイアットインターナショナルのページにリンクすると、世界34か国174のハイアットホテルの予約もできる。

URL <http://www.centuryhyatt.co.jp/>



日取り、参加人数、式のスタイルなどを入力していく

Service パーチャルコミュニティ
「ハビタット」
WWWブラウザと連携

富士通は、ニフティサブ経由に限定していたパーチャルコミュニティ「ハビタット」を、インターネットでも利用できるようにした。新開発の専用通信ソフト「Habitat V1/1L10」で接続できるようにしたもので、新ソフトは無償配布する。また、WWWブラウザとの連携で、ショッピングモール「インフォダイナモール」でリアルタイムに会話しながらショッピングを楽しめる。利用料金は基本料金が月額500円、使用料が1分7円。

URL <http://teleparc.com/habitat2/>



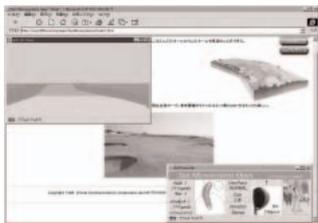
ホームページ上で会員登録ができる

Event

世界初! 本格的ゴルフトーナメント インターネットで開催中

ゴルフ場経営の日東興業グループとパーソナルコミュニケーションズは共同で、インターネット上のゴルフトーナメントを11月18日より開催した。「Sun Microsystems Open」は日本サン・マイクロシステムズが協賛し、Javaでプログラミングされた仮想コースで行う。予選ラウンドは12月24日から97年2月23日まで、本戦は3月中に開催され、賞品が用意される。

URL <http://www.999.com/sunopen/>



Javaで作られた仮想コースで競い合う

Event

小室ファミリーが 年越しのライブイベント komuro.netで発信

96年12月31日の23時から97年1月1日の23時まで、小室哲哉、安室奈美恵、華原朋美、TRFなどのTKファミリーが東京・六本木のヴェルファーレで行うライブイベント「TK TRILLION NET」の様子がインターネットで中継される。TKファミリー全員による新曲披露があるライブのほか、楽屋にもカメラが入り、アーティストの素顔も紹介される。また、披露される新曲のCD売り上げの一部は、学校にマルチメディア環境を整備する「こねっとプラン」のシステム費に一部当てられる。



URL <http://www.komuro.net/>

12月7日午前3時にもインターネットでの放送が行われた

Service

美容・健康をテーマに オンラインショッピング リクルートが開始

リクルートは、20代から30代の女性向けに美容と健康をテーマとしたサイト「naturei net」上でオンラインショッピングを開始した。同社の通信販売支援ムック「ナチュラルきれいを手にいれる本(naturei)」で紹介した商品の中から厳選した70点の商品を取り扱う。スキンケア、ダイエットなどの女性の関心が高いテーマのクチコミで評判の商品も購入できる。通信販売の受付期間は97年1月31日まで。

URL <http://www.recruit.co.jp/D-shop/naturei/>



今後、新たに創刊する通販支援ムックの商品も扱おう予定

TV

PCユーザー向け情報番組 「サイバークラブ」 NHK-BSで1月15日放送

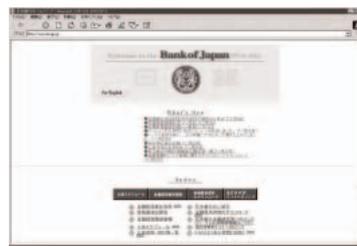
パソコンユーザーに狙いを定めた情報番組「サイバークラブ」(仮称)が1月15日18時から30分、NHK-BS7で放送される。4月からのレギュラー放送予定を前に、今回は特集形式で放送されるもの。この番組は、パソコンの使い方講座ではなく、目の前のコンピュータネットワーク社会を視野に入れ、最先端技術、社会との関連、ビジネス、教育利用、文化などへの応用を伝える。特集では、電話回線で鮮明な動画を送信できる技術「VDO Live」にスポットを当て、スタジオには慶應義塾大学の村井純助教授をコメンテーターとして迎える。また、素材には米国の「PCニュース」を用い、ビジネスマンやエンジニア向けの専門性の高い最先端情報を提供していく。

Service

日本銀行が ホームページ開設 金融経済情報を提供

日本銀行がホームページを開設した。「最新の金融経済情報などに快適にアクセスできること」をコンセプトに、金融・経済界の実務家や研究者の要望も満たすコンテンツ作りを目指し、原則として情報は公表と同時に発信する。また、お金に関するビジュアル情報など、一般のユーザーに親しみやすいコンテンツも提供する。

URL <http://www.boj.go.jp/>



国内官公庁や海外中央銀行などとも広範なリンク

Product

AIXが インターネットスターター CD-ROMを500円で発売

ASCII INTERNET EXCHANGEは、CD-ROM「ASCII INTERNET EXCHANGE 極楽インターネット」を、12月6日より定価500円で発売した。このCD-ROMはWindows 95対応で、ブラウザ「Microsoft Internet Explorer 3.01 日本語版」などのソフトや、同プロバイダーへの接続プログラムなどが同梱されており、特典として通常1,000円の加入権と1時間の無料アクセス権が付属する。

問い合わせ (株)アスキー インターネット事務局
TEL 03-5352-1630



Macintosh対応版は
97年1月に発売予定

Product ノートパソコン用の
小型デジタルカメラ
キヤノンが発売

キヤノンはPCカード型デジタルカメラ2機種を発売した。Windows 95対応のノートパソコンのPCカードスロットに差し込むだけで、デジタルカメラとして使うことができる。発売されたのは「PowerShot 30」と「PowerShot 30T」の2機種。「PowerShot 30」は39,800円で、270度回転するカメラヘッドを装備する。「PowerShot 30T」は46,800円で、カメラヘッド部分が着脱できる。

問い合わせ キヤノン販売(株)
システムサポートセンター TEL 043-211-9556



「PowerShot 30T」 撮像素子は27万画素

Product DVDシステムと連携して
ホームページで動画再生
松下電器がシステム開発

松下電器産業は、DVD-ROMに収録した動画をホームページ上で再生できる「DVD・インターネット連携システム」を開発した。このシステムは、クライアント側をDVD-ROMドライブ、MPEG2デコーダボード、MPEG2プラグインソフト、HTTPリクエスト変換プログラムで構成し、WWWサーバー側はホームページに動画を連携させるスクリプトソフトとユーザー情報管理用データベースで構成する。これにより、利用者はドライブにDVDを挿入するだけでサービス提供者のホームページにアクセスでき、連携した動画を閲覧できる。DVDにはディスク識別番号が記録され、サービス提供者はユーザー情報の管理ができる。

問い合わせ 松下電器産業(株)マルチメディア
システム研究所 FAX03-5460-2447
✉ sugano@trf.mei.co.jp

Product インターネット接続できる
「Mobile Gear」の
新機種をNECが発売

NECは携帯型端末機「Mobile Gear」の新機種3モデルを発売した。価格はキーボードタイプの「MC-MK12」は82,000円、「MC-MK11」が73,000円、ペン入力タイプの「MC-MP11」が65,000円。新商品はすべてタイマー設定でメールを自動的に送受信できる「ゼロタッチ」機能を搭載し、ロータスノーツなどのグループウェアへの接続機能も搭載した。

問い合わせ NECモバイルギア
インフォメーションセンター TEL03-3798-2088



ダイヤルアップIP接続ができる「MC-MK12」

Product ソニーが33.6Kbpsモデムの
ラインナップ発表
メモリー内蔵タイプも

ソニーは33.6Kbpsモデムを発売した。「SMD-340 BM/BW」は通信ソフトやインターネット接続ソフトが添付され、18,800円。このモデムにWWWブラウザと英日翻訳ソフト、ホームページ作成ソフトなどをバックした「SMD-340 IM/IW」は23,800円。また、1Mバイトメモリー内蔵の「SMD-341 EPW/M」(49,800円)と4Mバイトメモリー内蔵の「SMD-344 EPW/M」(59,800円)も発売した。こちらはモデム単体で商用ネットに自動アクセスし、受信メールをメモリーに蓄積しておく機能を備えている。



問い合わせ ソニー(株)お客様相談センター
TEL03-5448-3311

メモリー内蔵型はメールの着信がランプでわかる

Product 単体でメールが使える
京セラのPHSデータ通信端末
1月20日よいよ発売

京セラは単体で電子メールの送受信ができるPHSデータ通信端末「データスコープDS-110」を1月20日から発売するが、このたび、そのソフト環境が発表された。PHS電話機同様の形態とサイズで、ニフティなどのパソコン通信ネットを通じて電子メールの送受信ができるほか、2月中旬に発売する「ロータスノーツInfoMailゲートウェイ」のメールクライアントソフト「マイクロクライアントforデータスコープDS-110」を利用することで、ノーツ導入の企業内LANとも電子メールの送受信が可能になる。さらに、32Kbpsの高速データ通信に対応する「PIAFSソフト」も4月下旬に発売する。

問い合わせ 京セラ(株)通信機器事業本部マーケティング部 TEL 045-943-6138

URL <http://www.iijnet.or.jp/kyocera/product/newphs.html>

Product エルミックシステムから
128Kが使えるISDNカード
「Surf 2 Surf EZ」

エルミックシステムは、128KbpsマルチリンクPPP搭載のISDNカード「Surf 2 Surf EZ」を発売した。新製品は、ISDNのBチャンネル(64Kbps)を同時に使用することにより128Kbpsの高速通信ができるマルチリンクPPP機能を搭載しており、Windows 95のプラグ&プレイに完全対応しているため、ISDNカードのセットアップやドライバーのインストール、パラメーターの設定などが簡単にできる。また、Windows NT 4.0および3.5xにも対応しており、企業でのイントラネット構築にも活用できる。PCMCIA版とISAバス版があり、いずれもオープン価格。

問い合わせ (株)エルミックシステム サポートセンター TEL044-210-5724

URL <http://www.elmic.co.jp/>

インターネットエキスポ'96通信

開催期間：1996年1月1日～1996年12月31日

No.14


<http://park.org/>

ネットワークを使った音楽パフォーマンス 「Brain Opera」をストリームワークスで中継

NTT DATA Presents Brain Opera in Tokyo

URL <http://www.nexsite.nttdata.jp/brain-opera/>

電子楽器とインターネットによる 新しい音楽パフォーマンスが実現

11月22日から24日まで、東京・恵比寿ガーデンプレイスでマルチメディアネットワークを駆使したインタラクティブ音楽パフォーマンス「Brain Opera」が開催された。

このパフォーマンスはMIT(マサチューセッツ工科大学)メディアラボのトッド・マコーバー教授が開発した最先端のコンピュータとネットワーク技術を利用した音楽プロジェクト。会場では、ハイパーインストゥルメンツと呼ばれる、最新のデジタル技術とセンサー技術による電子楽器を使った演奏が披露され、同時にインターネットで配信された。

このパフォーマンスは3日間で全14回行われ、ストリームワークス(28.8K、64K、128K)で中継された。

インターネットから送られた サウンドをライブで演奏

「Brain Opera」の公演は二部構成になっていて、第一部では「リズムツリー」や「ジェスチャーウォール」などの楽器が展示され、観客が実際に試せるようになっていた。ここで集められた音は第二部のパフォーマンスでも使用された。

第二部の音楽パフォーマンスでは、トッド・マコーバー教授を含めた3人がステージに上がり、センサーに手を近づけたり遠ざけたりすると音色が調節できる楽器や、空中で棒を動かすとボーカルが自由に調節できる装置を使って演奏していた。当日会場で集められたサウンドやインターネットで一般参加者から送信されたサウンドを使っている即興演奏なので、毎回違う演奏を体験できることになる。



「Brain Opera」のホームページと演奏風景をストリームワークスで受信した映像



叩いたり触ったりすると多彩なリズムを奏でる「リズムツリー」(上)と身体の動きに応じて音楽が変化していく「ジェスチャーウォール」(下)

インターネットとライブを融合させた新しい試みといえるだろう。

長崎ハウステンボスから大晦日のカウントダウンを生中継

Welcome to Huis Ten Bosch Count Down Show 1996!

URL <http://park.org/Japan/Kyushu/htb/>

12月31日18時から26時30分まで、長崎ハウステンボスで大晦日のカウントダウンのイベントが行われる。エキスポ最後の公式イベントだ。

当日は、多彩なゲストによるライブの中継やカウントダウンの瞬間がストリームワ

ークス、VDOLive、Real Audioで放送される予定。ハウステンボスの美しいイルミネーションをバックに打ち上げられる5000発の花火をインターネットで見るといっても一興だろう。

また、イベント当日、このホームペー



ジで紹介する一般からのメッセージやカウントダウンショーで流す曲のリクエストもWWWで受け付けているので、応募してみたいかだろうか。

インターネットとアートのコラボレーション 大日本印刷のパビリオンで2つのアートイベントを開催

藤幡正樹「Global Interior Project #3」

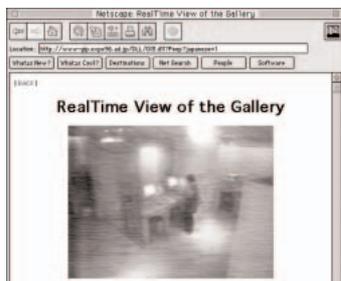
URL <http://park.org/Japan/DNP/GIP3/index.html>

野村万之丞ライブパフォーマンス「不思議仮面」

URL <http://park.org/Japan/DNP/MTN/MN/tanteidan/sympo.html>

インターネットでギャラリーの 展示物を遠隔操作

11月5日から22日まで東京・銀座の「ギンザ・グラフィック・ギャラリー」で藤幡正樹氏による「Global Interior Project #3」が開催された。この展示は、インターネットからも鑑賞でき、インターネットを通じて会場のインスタレーションを遠隔操作できた。



「Global Interior Project #3」のホームページから会場の様子を見ているところ

会場には3つの「キオスク」という小部屋が設置してあり、トラックボールを動かしながら部屋の中のモニターをのぞき込むと、あたかも自分がその小部屋の中を歩いているような3D画像が楽しめた。ある部屋から別の部屋に移動すると、会場にある「マトリクスキューブ」と呼ばれるオブジェの扉が開閉して、自分がいる小部屋の位置が分かるようになっていた。

仮面をつけてチャットが楽しめる

同じくギンザ・グラフィック・ギャラリーで11月25日、狂言師の野村万之丞氏による仮面パフォーマンス「不思議仮面」が行われた。

このパフォーマンスは、野村氏が実際に仮面をつけてさまざまな動きをすることによって仮面の持つ不思議な力について参加者と一緒に考えるというもの。会場の様子



「不思議仮面」のホームページと当日のパフォーマンスの様子



はストリームワークス、VDOLive、ピーブホールカメラによる静止画で配信され、インターネットでアクセスした参加者が映像を見ながら自分の好きな仮面をつけてチャットができるようになっていた。これらの画像はハイビジョン用カメラで撮影されていたので、非常になめらかできれいな画像が楽しめた。

なお、大日本印刷のパビリオンでは、さまざまな仮面を見ることができる。

インターネット放送局「TBS INTERNEXT」を3日間臨時開局！

TBS INTERNEXT

11月20日から22日までの3日間、TBSのインターネット放送局「INTERNEXT」がエキスポのネットワークを使用して放送された。これはインターネットで見るテレビ番組だ。

今までライブをインターネットで中継したという例はあったが、今回のようにインターネットで放送するために番組が制作された例は初めて。

INTERNEXTのホームページにアクセス

すると、フレームで区切られたウィンドウの左側に3日間分の番組表が、右側に番組が表示された。ストリームワークスやVIVO ACTIVEなど、番組を見るのに必要なツールもホームページからダウンロードできるようになっていた。

番組のほうは、Javaを使った将棋対戦やテレビ局の女性人気アナウンサーとのチャットなど、インターネットならではの企画が目立った。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp